

2016 パラリンピック トーナメントクレジット

トーナメントクレジットに関する次の重要な情報に注意してください。
これには **2014 年 1 月** に開催された **PTT 部門会議** の議事録からの変更が含まれています。

- 1 2016 パラリンピックのためのトーナメントクレジット期間：
2014 年 1 月 1 日から 2015 年 12 月 31 日

- 2 蓄積できるトーナメントクレジットポイント：
 - a) 欧州 250 点：ポイントの最大 40%(100pt)が 2014 年に、最小 60%(150pt)が 2015 年に蓄積される。
 - b) 米州とアジア 210 点：ポイントの最大 40%(84pt)が 2014 年に、最小 60%(126pt)が 2015 年に蓄積される。
 - c) アフリカ、オセアニア 190 点：ポイントの最大 40(76pt)%が 2014 年に、最小 60%(114pt)が 2015 年に蓄積される。

地域選手権（ Fa50 ）は、トーナメントクレジットに含まれる。

世界選手権（ Fa80 ）は、トーナメントクレジットには含まれない。
大陸の外のイベントに出場する選手たちには、1 トーナメントにつき 20 ポイントがさらに割り当てられる。

- 3 すべての選手は、Fa20 と Fa40 大会で個人戦と団体戦（一緒に競技する別の団体が複合クラスとしても可）の両方に出場する必要がある。
協会から提出された第 2 エントリーによって、個人戦か団体戦または両方かを確認する；
すなわちどの選手が個人戦、団体戦、あるいは両方で競技するのかを確認する。
しかしながら TD と審判は、第 2 エントリーの後に、チームの組合せが不可能で、その影響を受ける選手のクレジットがまだカウントされるかを確認する必要がある。

チームが合意しエントリー後に、団体戦開始前および開始後に選手が取りやめる場合、その選手にトーナメントクレジットが割り当てられることはないが、残りのチームメンバーが 2 名以上いて、団体戦を完了すればチームメンバーに蓄積される。

地域選手権の選手は可能な限り、団体戦に出場する必要がある。

選手が病気やけがで個人戦や団体戦から脱退した場合、トーナメント会場で技術代表によって任命された医師による健康診断を受けなければならない。診断書は TD に、そしてトーナメントクレジットの終了場所の選定責任者に提供されなければならない。

選手が詳細な診断書を提出せずにトーナメントを離れた場合、トーナメントクレジットは蓄積されない。同様に十分な詳細を提供しない場合には、クレジットが累積されることはない。

例：

aa) ヨーロッパで、Fa40 x 2 トーナメント、Fa20 x 1 トーナメントで 2014 年に 100 トーナメントクレジットポイントが蓄積される。

残りの 150 ポイントは、2015 年間に蓄積される必要がある -

地域選手権は含まれる；すなわち 150 のうちの 50 トーナメントクレジットポイントがまだ必要。

bb) ヨーロッパで、Fa40 x 3 トーナメント、Fa20 x 2 トーナメントで 2014 年に 160 ポイントが蓄積される：しかし

40%の最大値(= 100)のみクレジットポイントが認められ、残りの 150 ポイントは、2015 年間に蓄積する必要がある - これに地域選手権は含まれる、すなわち 150 のうちの 50 ポイントがまだ必要。

cc) ヨーロッパで、Fa40 x 1 トーナメント、Fa20 x 2 トーナメントのみの場合、80 ポイントのみが蓄積される。

残りの 170 ポイントは、2015 年間に蓄積される必要がある - これに地域選手権は含まれる、すなわち 170 のうちの 50 ポイントがまだ必要。

他の地域でも同じシステムが使用される。

選手が自分の地域外のトーナメント Fa20 に参加する場合、40 ポイント(Fa20 + 20 追加ポイント)を獲得する。Fa40 トーナメントでは、Fa40 + 20 追加のポイントを獲得する。

NICO VERSPEELT

セレクション・オフィサー

2014 年 3 月 11 日

2014 年 3 月 21 日更新